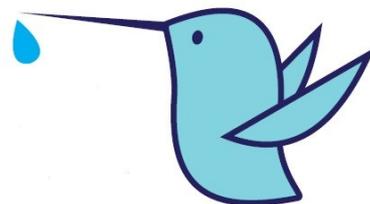


ぎふハチドリ基金 2周年特集 その1



ぎふハチドリ基金は2012年10月1日に創設されたので、まもなく2周年になります。
しばらくシリーズで、いままでの歩みを振り返りながら、ぎふハチドリ基金の今後について考えます。

<ぎふハチドリ基金ができた理由>

ぎふハチドリ基金の運行事務局であるNPO法人ぎふNPOセンターは、今まで多くの子育て支援や若者支援の事業にかかわったり、様々な悩みの相談にのる「総合相談窓口」や「電話相談」の事業を実施してきました。その中でわかったことがあります。

- ・困難を抱えていても、公的な制度の隙間で、支援が得られない事例があること。
特に経済的困窮の子育て家庭や、発達に障がいを抱える子ども若者に対する支援が不足していること
- ・相談窓口で受けた生活や就労に関する困難事例の多くは、青年期や幼少期からの適切な公的支援や周囲の理解・支えがあれば防げたと思われること

負(マイナス)の連鎖を止めるためにも、できるだけ早い時期に、適切な支援が必要です。
公的制度が整うのを待っている、現在、困っている子どもや若者たちは救われません。

今、地域で、困っている子ども、若者、子育て家庭の支援活動をしているのは、NPO(非営利団体)です。
私たちは、岐阜で子ども若者の支援をしているNPOとネットワークを組んで、活動交流や情報交換をし、いろいろな課題を一緒に考えてきましたが、これらNPOの大きな悩みのひとつが活動資金の不足です。

生活や就労に困難を抱えた若者や子育て家庭を、きめ細かく支援する活動にはお金がかかります。
しかし、支援をしている相手から、お金を十分にいただくことはできません。
助成金や委託事業には、あてはまるものが少なく、その手続きも大変です。
資金不足から、活動を縮小していく団体も少なくありません。

そんな子ども若者、子育て家庭を支援しているNPOの活動を、市民の力で支えることで、今、困っている子どもや若者、子育て家庭に、いち早く手を差し伸べることができると考えました。

(次号につづく)

第3期団体指定寄付の募集が終わりました。第4期もよろしくお願いします。

8月31日に第3期団体指定寄付の募集期間が終わりました。
現在、寄付金額の集計中です(9月21日寄付つき映画上映会後に確定します)。
参加団体へのたくさんのご支援ありがとうございました。
第4期団体指定寄付の寄付募集は2015年2月28日までです。
団体の情報は、新しいリーフレットやホームページをご覧ください。

26年度特定事業助成団体の事業が始まっています。

昨年の寄付金を元に助成している団体の事業が始まっています。
活動の様子など、facebookやホームページで随時紹介していきますので、ぜひチェックしてください。



